

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）														
基本政策		第4章 基本政策4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず											
施策領域		第1節 地域活動					事業の必要性 【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている											
施策項目		施策1 コミュニティ活動の推進					事業の効率性 【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある											
事業		町内会活動推進					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い											
所属		地域活動推進課					事業の成果・分析		コミュニティ施設整備事業補助金について、申請件数が令和5年度と比べて減ったため、減額となった。（令和5年度：8件、令和6年度：3件） 年度によって金額の増減等はあるが、各種補助等を通じて、地域のお祭り等の各種町内会活動の維持・活性化につなげることができた。												
事業概要		各町内会及び町内会連合会の健全な発展と円滑な運営を助長し、自治と連帯の意識高揚を図るため、各種補助等を通して町内会活動を支援する。 町内会補助金／町内会連合会補助金／防犯灯設置費及び管理費補助金／コミュニティ施設整備事業補助金																			
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他																			
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度																			
根拠法令等		新座市町内会等補助金交付要綱 外3件																			
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）														
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		Ⅲ I：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了							
予算・決算	予算現額（円）		26,988,000		23,681,000																
	財源内訳	一般財源	26,988,000		23,681,000																
		特定財源等	0		0																
	支出済額（円）		26,436,490		23,476,208																
	不用額（円）		551,510		204,792																
執行率（％）		97.96%		99.14%																	
実施内容		各種補助金等を通して町内会活動を支援した。 （各種補助金） ・町内会補助金：町内会加入世帯数に応じて交付する補助金 ・町内会連合会補助金：新座市町内会連合会に対して交付する補助金 ・防犯灯設置費及び管理費補助金：町内会で維持管理する防犯灯に対して交付する補助金 ・コミュニティ施設整備事業補助金：町内会のコミュニティ施設（掲示板等）を整備するための補助金					今後の取組方針					防犯灯設置費及び管理費補助金について、電気料金の値上げにより町内会の負担が増え続けていることから、国の交付金の活用等も含め補助金額の適正化について検討していく。 他の補助金については、町内会と意見交換しながら事業を進めていく。									
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度											令和8年度		令和9年度		
	指標名	単位																			
活動指標・成果指標	町内会補助金	円	15,360,700	15,083,800																	
	町内会連合会補助金	円	1700000	1700000																	
	防犯灯設置費及び管理費補助金	円	6222406	5791220																	
	コミュニティ施設整備事業補助金	円	2701000	480000																	

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）

基本政策	第4章 基本政策 4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】
施策領域	第1節 地域活動
施策項目	施策1 コミュニティ活動の推進
事業	集会所管理
所属	地域活動推進課
事業概要	地域の人々の交流の場となる集会所を利用することで、地域のコミュニティ活動推進の高揚を図る。 集会所38施設は地域の町内会等に、ふれあいの家5施設は公益社団法人新座市シルバー人材センターに利用受付等の管理を委託し、地域に密着した施設として利便性の向上に努める。
実施形態	■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他
実施根拠	□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度
根拠法令等	新座市立集会所条例、新座市立集会所規則

3 事業評価（Check）

事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
事業の効率性 【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある
施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
事業の成果・分析	鍵のスマートロック化（電子化）やスマートロックと連携可能な公共施設予約システムの導入について、令和7年10月からの運用に向けて課題を整理するとともに、効果的な運用方法等について検討した。	

2 事業実績（Do）

年度			令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
予算・ 決算	予算現額（円）		82,352,000	79,229,000			
	財源内訳	一般財源	75,112,000	76,508,000			
		特定財源等	7,240,000	2,721,000			
	支出済額（円）		75,923,117	75,924,404			
	不用額（円）		6,428,883	3,304,596			
	執行率（％）		92.19%	95.83%			
実施内容			地域のコミュニティ活動の推進やふるさと意識の高揚を図るための交流の場として利用に供している市内４３か所の市立集会所について、３７か所は地域の町内会に、１か所は個人に、ふれあいの家５か所は公益社団法人新座市シルバー人材センターに管理を委託し、地域に密着した施設として管理運営を行った。				
年度			令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	指標名	単位					
活動 指標・ 成果 指標	利用件数	件	14,591	未確定			

4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）

今後の方向性	II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
今後の取組方針	引き続き、市内43か所の市立集会所について、37か所は地域の町内会に、1か所は個人に、ふれあいの家5か所は公益社団法人新座市シルバー人材センターに管理を委託し、地域に密着した施設として管理運営を行う。 鍵の管理（ふれあいの家を除く。）や予約の受付については、スマートロックやスマートロックと連携可能な公共施設予約システムを令和7年10月から運用することとし、市民の利便性を高めることで、利用件数等の増を図る。	

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）				
基本政策		第4章 基本政策4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域		第1節 地域活動					事業の必要性 【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目		施策1 コミュニティ活動の推進					事業の効率性 【見直す余地】		B	A：余地はない B：余地はある	
事業		集会所施設整備					施策への貢献度		B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属		地域活動推進課					施設の維持に必要な工事を行った。今後も老朽化に伴う工事や施設の突発的な故障に伴う工事を行う必要がある。				
事業概要		地域の人々の交流の場として利用に供している市立集会所について、維持に必要な工事を行う。									
実施形態		■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他									
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度									
根拠法令等		新座市立集会所条例					事業の成果・分析				
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）				
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
予算・決算	予算現額（円）		5,169,000		2,035,000						
	財源内訳	一般財源	5,022,000		2,035,000						
		特定財源等	147,000		0						
	支出済額（円）		5,167,250		1,976,392						
	不用額（円）		1,750		58,608						
	執行率（％）		99.97%		97.12%						
実施内容			地域のコミュニティ活動の推進やふるさと意識の高揚を図るために交流の場として利用に供している市内43か所の市立集会所について、必要な解体・撤去、改良改修、その他工事を行った。 工事内容 (1)解体・撤去 新座市立あたご・菅沢集会所樹木伐採工事 ほか1件 (2)改良改修 新座市立野火止八丁目集会所和室空調機設置工事 ほか1件 (3)その他 新座市立武野集会所2階多目的室1 照明器具取替工事								
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位									
	工事件数	件	8		5						
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了							
今後の取組方針		突発的な故障への対応ではなく、計画的な改修工事等を行うことで、利用件数等の増を図る。									

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）									
基本政策		第4章 基本政策4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず						
施策領域		第1節 地域活動					事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている						
施策項目		施策1 コミュニティ活動の推進					事業の効率性【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある						
事業		ホタル飼育施設維持管理					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い						
所属		地域活動推進課					事業の成果・分析		西分町内会、畑中町内会及び新栄町内会において行われたホタル飼育事業の一助となった。 ※ 西分町内会ではホタルの飼育に関して、担い手の不足が続いている。							
事業概要		市民と行政が協働してふるさと新座づくりを進める一環として、野火止三丁目地内にある野火止ホタル飼育施設において、地元町内会（西分町内会）と連携してホタルの飼育を推進する。 また、ホタル飼育に取り組む畑中町内会及び新栄町内会に対し、飼育に係る費用の助成を行う。														
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他														
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度														
根拠法令等		新座市ホタル飼育施設等管理費助成金交付要綱														
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）									
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		IV I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
予算・決算	予算現額（円）		852,000		1,020,000											
	財源内訳	一般財源	852,000		1,020,000											
		特定財源等	0		0											
	支出済額（円）		561,805		564,165											
	不用額（円）		290,195		455,835											
執行率（％）		65.94%		55.31%												
実施内容		西分町内会がホタルの飼育を行う野火止ホタルの里の維持及び管理に要する物品の購入等を行った。 また、畑中町内会及び新栄町内会に対し、ホタル飼育施設等の維持及び管理に要する費用の一部を助成した。 ・市と西分町内会の共催による野火止ホタル観賞会（野火止ホタル飼育施設周辺）：6月8日（土） ・畑中町内会による畑中ホタル観賞会（畑中黒目川公園）：5月24日（金）～28日（火）														
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の取組方針		物価高騰を受け、補助金額を再検討する必要がある。 ※ 新栄町内会は、ホタルの飼育に関して担い手がいらないことから、令和6年度をもって飼育事業を休止		
活動指標・成果指標	指標名	単位														
	畑中町内会	円	252,000		320,000											
	新栄町内会	円	7702		11475											
	西分町内会	円	302103		232690											

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）														
基本政策		第4章 基本政策4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず											
施策領域		第1節 地域活動					事業の必要性 【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている											
施策項目		施策2 ボランティア・市民活動の推進					事業の効率性 【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある											
事業		ボランティア・地域活動推進					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い											
所属		地域活動推進課					事業の成果・分析		200の市民団体等が補償制度に登録した。 また、5件の事故を認定し、うち4件について計97,000円の補償金が年度内に支払われた（1件は請求を取り下げた。）。 結果として、市民団体等が安心して活動を継続できるよう支援できた。 さらに、要綱や周知パンフレットを見直し、より利用しやすい制度とした。												
事業概要		市内で活動する市民団体等の活動情報、ボランティア募集情報、イベント情報等を広く発信し、地域活動の活性化を推進する。 また、市内に活動の拠点を置く市民団体等が、安心して公益的な地域活動を行えるよう、補償制度を運用する。																			
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他																			
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度																			
根拠法令等		新座市市民公益活動補償制度取扱要綱																			
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）														
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		Ⅲ I：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了							
予算・決算	予算現額（円）		1,562,000		1,570,000																
	財源内訳	一般財源	1,562,000		1,570,000																
		特定財源等	0		0																
	支出済額（円）		1,559,600		1,559,160																
	不用額（円）		2,400		10,840																
執行率（％）		99.85%		99.31%																	
実施内容		登録団体数 200団体 事故件数 5件					今後の取組方針					引き続き、補償制度を周知し、市民団体等が安心して活動を行えるよう努めていく。									
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度											令和8年度		令和9年度		
活動指標・成果指標	指標名	単位																			
	登録団体数	団体	200		200																

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）										
基本政策		第4章 基本政策 4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】					事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず						
施策領域		第1節 地域活動					事業の必要性 【市民ニーズ】		A		A：高まっている B：変わらない C：薄れている						
施策項目		施策3 国際化の推進					事業の効率性 【見直す余地】		A		A：余地はない B：余地はある						
事業		外国人市民のための生活ガイドブック作成					施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い						
所属		地域活動推進課					事業の成果・分析				外国人市民の人口は年々増加しており、外国人市民向けに情報を提供するガイドブックの必要性は高まっている。また、ガイドブックは冊子での作成は行わず、市のホームページに掲載する形をとっており、効率性は高いと考える。						
事業概要		平成30年度に作成したガイドブックについて、内容の修正、変更等を行い、外国人市民にとって、より利用しやすいガイドブックを作成する。 1 内 容 新座市紹介、市の行政サービスなど 2 言 語 やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語 3 発行方法 データ版のみ（市ホームページへ掲載） 4 周知方法 転入者へのチラシ配布など															
実施形態		■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他															
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度															
根拠法令等		なし															
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）										
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		Ⅱ I：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了			
予算・決算	予算現額（円）		0		1,813,000												
	財源内訳	一般財源	0		913,000												
		特定財源等	0		900,000												
	支出済額（円）		0		1,602,700												
	不用額（円）		0		210,300												
	執行率（％）				88.40%												
実施内容		外国人市民のための生活ガイドブック（「新座市くらしのガイド」）を作成し、ホームページに掲載した。また、周知用チラシを作成した。 言語 やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語					今後の取組方針				必要に応じ、データの更新を検討していく。 また、新たなガイドブックを作成する際は、外国人市民の国別の状況等を考慮しながら、作成する言語等を選定するなど、今後も改善しながら継続していく。						
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度							令和8年度		令和9年度		
	指標名	単位															
活動指標・成果指標	対応言語数	言語			4												